

「日米合同委員会」の研究:謎の権力構造の正体に迫る
「戦後再発見」双書



「日米合同委員会」

謎の権力構造の正体に迫る

日本政府の上に君臨し、

軍事も外交も司法までも

日本の主権を侵害する取り決めを交わす

“影の政府”の実像とは？



吉田敏浩

創元社

日米合同委員会の会議が開かれる
「ニュー山王ホテル」



の研究

発売日: 2017年8月31日

出版: 創元社

著者: 吉田 敏浩

ページ: 351

PDF

日本の超エリート官僚と在日米軍の軍人たちが毎月2度行う秘密の会議「日米合同委員会」。
そこで合意された取り決めは日本の法律・憲法よりも、強い効力をもっている。しかし、軍事、外交、司法のさまざまな側面で、日本の主権を侵害し続けるその協議の内容は厚い秘密のベールに包まれ、ほとんど公表されることがない。米外交官から見ても「きわめて異常」と評されるその驚くべき実態に、第一人者の大宅賞作家、吉田敏浩がせまる。第60回日本ジャーナリスト会議賞受賞。

<https://k2s.cc/file/e6b108a9b9b90/nAnYRmTkE.pdf.rar>